



けすぞう新聞

2022年8月発行
NO.56
播磨町消防団女性分団

強い味方、その名は…ノラエモン!!

災害時は自分で考え自分で行動 防災劇 おしえてノラエモン

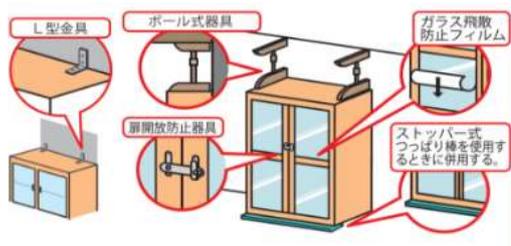
2022年7月2日、北部子育て支援センターで「おしえてノラエモン」を実演しました。パパぱれっとから「劇をお願いします」との熱い要望のもと、久々の防災劇の実演となりました。

パパぱれっとは、パパが中心となって、パパと子どもが集まり、みんなで楽しく遊ぶというサークル活動です。パパぱれっとの絵本の読み聞かせ、ふれあい遊びに続いて、女性分団が登場しました。



過去の教訓を生かして生き抜こう!!①

1995年の阪神淡路大震災へタイムマシンで出発。
まず大切なのは耐震性。地震の時は、頭を守る。
閉じ込められたら手足を動かすことを忘れずに、
体力を使わず音を出す。



過去の教訓を生かして生き抜こう!!②

2011年の東日本大震災へタイムマシンで出発。
自分の命は自分で守る。水が来る前に避難。



播磨町の

津波避難目標地点を目指すぞ

非常持ち出し袋を背負って、いざ出発!!

- ・野添北公園(喜瀬川よりも東)
- ・大中遺跡公園(喜瀬川よりも西)

ノラエモン、のぶ太、しずえちゃん、ノラミちゃんが避難出発。
続いて、パパと手をつないでみんな一緒に避難しました。

みんなで、だんごむしのポーズ



地震の時は頭を守る「だんごむしのポーズ」

頭部に手を当て危険なものにお尻をむけてしゃがみ込みます。
小さなお子様には覆いかぶさり、自分の頭も守ります。



たいへん じょうずに
できました

～あなたの地区の幼稚園・保育園・子供会・
サロンなどの公演依頼をお受け致します～

